

2024年 OM世界決勝大会参加概要

- 1 大会名 ODYSSEY OF THE MIND 2024 WORLD FINALS
- 2 大会期日 2024年5月21日～24日の4日間
- 3 大会会場 アメリカ アイオワ州立大学
- 4 競技部門 Problem 4: Divisions II, Deep Space Structure
- 5 派遣メンバー 2024年度中学2年生 7名 (引率者3名)

生徒	カハラ サエ 川原 彩瑛	豊田市立井郷中学校	2年女子
生徒	サトウ ユウト 佐藤 悠人	豊田市立崇化館中学校	2年男子
生徒	サワダ エイト 澤田 瑛翔	豊田市立井郷中学校	2年男子
生徒	タカハシ リオ 高橋 理桜	豊田市立井郷中学校	2年女子
生徒	タケハラ シロウ 竹原 志朗	豊田市立上郷中学校	2年男子
生徒	タナカ アイト 田中 愛士	安城市立東山中学校	2年男子
生徒	テラサキ サホ 寺崎 紗帆	豊田市立豊南中学校	2年女子
- 6 指導者

総合コーチ	田中 康之	発明クラブ運営委員
コーチ	山下 真人	発明クラブOM専属指導員
コーチ	高橋 幹雄	発明クラブOM専属指導員
コーチ	近藤 治裕	発明クラブOM専属指導員
コーチ	加藤佐江子	発明クラブOM指導員
推進委員	上田理事長・村山事務局長・宇野運営委員長・佐々木康二	
- 7 旅行日程 合計 9日間前後の予定

競技大会	4日 (現地火曜日～金曜日)
施設見学	2日
移動・機中	3日
- 8 大会課題の概要 (詳細別紙)
 - ① バルサ材を使用して構造物を製作し、荷重競技 (100点) をする。
 - ② 構造物は高さ20.3cm以上、重量は15g以下。
 - ③ 競技時間8分。
 - ④ スタイル含む長期課題 (150点)、荷重実験 (100点)、当日課題 (100点)
合計350点満点で競われる。
- 9 参加準備の研修 7月～5月 約100回の自主研修日
 - ① 課題である構造物の製作と荷重実験による改良
 - ② 英語劇のシナリオと演技、背景、衣装、デバイス等の製作
 - ③ バナー、ユニフォーム用Tシャツ、交換用ピンバッジ (2種類) の制作
 - ④ スポンティニアス (当日課題) の練習
- 10 備考 3月23・24日 (土・日) OMOB総会・合宿で実演
4月5日 教育長訪問 以後、参加者所属中学校訪問
5月4日 (土) 公開演技 (出発前の確認とリハーサル)
5月10日 (金) 市長表敬訪問

Odyssey of the Mind の概要

(1) OMとは

- ① Odyssey of the Mind の略で、日本語では「知的探検旅行」といい、創始者は当時ニュージャージー州のローワン大学の教授だった Samuel Micklus 博士である。
- ② 幼稚園児から大学生までの創造性の啓発をめざす、民間の非営利ボランティア組織である。
- ③ チームプレーで課題に対応する。その発想力・解決力・表現力を競う過程で、創造性を目指しているのが特徴である。
- ④ アメリカ全州を始め、世界各国のOMメンバーの登録団体がある。豊田少年少女発明クラブも、日本代表として1990年から参加している。
- ⑤ アメリカでは地方ごとに予選が行われ、州大会まで勝ち抜いたチームが世界決勝大会への参加資格を得る。課題は5種類で、学年別で競技する。
- ⑥ 決勝大会は毎年5月下旬～6月上旬に、アメリカの大学のキャンパスを貸し切って開催されるのが通例となっている。2020年から2022年まではVirtualでの大会も行われている。
- ⑦ 毎年決勝大会には、アメリカを中心に世界各国から850チーム以上、約1万人の参加がある。

(2) OM競技の特徴は

- ① 個人プレーでなく、チームプレーでの課題解決である。
- ② 競技参加チームは最高7名のメンバーで構成する。
- ③ チームには、コーチ1人がつかなければならない。
- ④ 子ども自身の発想と製作を主体とする。手助けした場合は書類で自己申告し、その程度により減点される。
- ⑤ 競技終了後、競技者は審判より質問を受ける。
- ⑥ 前もって課せられた課題（長期課題＝long-term problem）と競技当日会場で与えられる課題（当日課題＝spontaneous problem）があり、その合計点で競う。
- ⑦ 競技時間は長期課題8分、当日課題はおよそ10分前後。

(3) 競技部門は

5種類の課題（Problem 1～5）にそれぞれ次の競技部門がある。

第1部（Division I）小学生の部	第3部（Division III）高校生の部
第2部（Division II）中学生の部	第4部（Division IV）大学生の部